

学校だより

# あ お ぎ り

No.10

平成22年11月1日

須坂市立森上小学校

## 楽しくできた 新発田市立米子小学校との交流 10月21日・22日

### 米子小学校との交流について

須坂市は、竹前兄弟（注1）の縁により、1985年に旧紫雲寺町（現新発田市紫雲寺地区）と姉妹都市になりました。そして、縁の地に建つ米子小学校の児童と須坂の小学生との交流を始め、今年で21回を数えるまでになりました。

隔年で行き来して、昨年は須坂の子どもたちが米子小を訪問したので、今年は受け入れる立場になり、森上小が当番校ということで交流をしました。

市内の小学校は11校あるため、受け入れ校として順番が回ってくるのは22年に1度です。ですから、今年の在校生は、大変貴重な体験の場に居合わせたことになります。



全校で「校歌」を歌って聞いてもらう  
(手前に座っているのが、米子小の5・6年生)

学校に迎えての歓迎交流会では、プレゼント交換（森上小からは、須坂の紹介ガイドブック

を。米子小からは、郷土の伝統玩具「金魚台車」、町木のレンギョウの苗木などをいただきました。）をしたり、全校でレクリエーションを楽しんだりしました。

いったん別れた後、6年生は夜、峰の原青年の家に泊まり、そこで、さらに交流を深めました。

右の写真は、22日（金）、米子小の友だちと混合のグループを作り、マレットゴルフを楽しんでいる様子を写したものです。ゲームが終わる頃には、すっかりうち解け、同じ学校の子どもたちのようになじんでいました。

大変意義深い交流になりました。

### （注1） 竹前兄弟の物語

現在の新潟市から少し東北に行った辺りに旧紫雲寺町があります。

今から280年ほど前の江戸時代、そこには、紫雲寺潟と呼ばれる低地が広がっていて、大雨が降る度に洪水が起き、周囲の村の人々は飢えと貧しさに苦しんでいました。

竹前小八郎は、米子村（現須坂市米子）の出身の人です。小八郎の家は、山で硫黄（マッチなどの原料になる）を採り、江戸で売るために、江戸に出てたばこ屋をやっていました。その時、知り合いの旅館の主人から紫雲寺潟の話聞き、何とか村人を助けてあげたいと考え、幕府に工事の許しを求めました。必死の願いが届き許可はおりたものの、工事にはたくさんのお金と人手が必要です。苦労が続き、小八郎は病気で死んでしまいました。

兄の権兵衛は、亡くなった弟小八郎の死を悼み、意志を受け継ぎ、工事を続けることにしました。

お金が不足すると、権兵衛は私財を投げ打って工面し、ようやく数年の後、紫雲寺潟の干拓事業は完成し、かつての沼地は、200町歩もの広大な田や畑に変わりました。

以来、お米がたくさん採れるようになり、農民の暮らしも、少しずつよくなりました。

村人は、竹前小八郎（弟）権兵衛（兄）兄弟の恩を忘れることなく、今に伝えているのです。



実りの秋です

## 【6年】 修学旅行 終わる



6年の修学旅行が、10月6日(水)7日(木)に実施されました。

東京で最初に訪れた場所は、国の政治の中心、国会議事堂です。

ここでは、「国会のしくみと法律ができるまで」を知るために、自分たちが国会議員や各官庁の代表者になって提案したり討論したり採決に当たったりという体験を行わせてもらう「参議院特別体験プログラム」の学習に参加しました。



シナリオがあるとはいえ、代表で役割を演じた子どもたちは、皆はきはきと提案理由や意見を述べることができ、おかげで、法律ができるまでの仕組みが大変よく分かるものになりました。

その後は、3つの班(交通・文化・科学)に分かれてのコース別学習。夕食までは別々の行動になりましたが、どのコースもねらいに即して、実りあるものになったようです。

2日目は、ディズニーランドへ。昼過ぎまでグループ行動になりましたが、事前に計画したプランをもとに、みんなよくまとまってそれぞれのアトラクションを楽しんでいました。

集合時には、たくさん歩き回ってすっかり疲れ果てた様子を見せていた子どもたちですが、最後の国立科学博物館の見学もしっかりとやり終え、無事、午後7時過ぎに須坂へ帰ってきました。

須坂駅に降りるなり、「ああ、やっぱり須坂の方が空気がおいしい。」と口に出す子どもがいたりして、修学旅行に行って東京の華やかさ、素晴らしさなどを感じる一方で、自分たちの住む町の良さも再認識できたのかなと思いました。

小学校時代の良い思い出として心に残るものとなったと思います。

## 新しい先生の紹介

宮澤 一江 先生

現在、療養休暇をとられている渡辺直子先生の代わりに、3年仁組を担当します。

今のところ、2学期末まで勤務していただく予定です。

(教育実習生) 永田 農治 先生

小学校の教員免許をとるために、母校で教育実習をさせてほしいという申し出があり、11/1~26までの4週間、本校で実習をしていただくことになりました。

4年仁組に所属します。

## ふれあいの日 ご出席ありがとうございました

土曜日は、あいにくの天候の中、ふれあい参観日の各種体験活動のご参加いただき、大変ありがとうございました。

今年は講座開設数を23に増やして実施しました。人手が足りずPTAの役員さん方にもご協力をお願いして運営させていただきましたが、どの講座も大変好評のうちに終了することができました。本当にありがとうございました。

